

関西大学創立 130 周年記念事業に係る基本方針等について

1 記念事業実施に係る基本的な考え方

ソフト中心のコンパクトな記念事業とします。

2 記念事業の基本方針

大阪で生まれ発展した大学であることを基本に、平成 20 年度に策定した長期ビジョン「KU Vision 2008-2017 ~学校法人関西大学の長期ビジョン(将来像)~」を踏まえつつ、次の 3 つのテーマを掲げます。

国際性(アジアの中核大学、ハブ大学)

社会から強く求められている、国際化に対応可能な人材を育成します。

知性と先進性(安全・安心、環境、健康に関する文理融合型プロジェクト)

人間健康学部、社会安全学部、東アジア文化研究科など、新たに設置した学部・研究科の特色を活かした事業を既設の学部との関連を持たせて実施し、大学全体のブランド力の向上を図ります。

歴史と伝統(泊園書院、市民の大学、地域連携・地域貢献)

各ステークホルダーが建学の精神を再確認し、帰属意識の醸成を図る機会とします。

また、既存の学術講演会、学生参加型のイベント等に「創立 130 周年記念事業」の冠をつけて実施することで、本学の取り組みを広く社会に対してアピールする契機とします。

3 コンセプト

上記の基本方針に基づき、次のとおりコンセプトを定め、趣旨・目的を社会に広く周知します。

伝統への自信 未来への考動 ~ 「学縁」を世界に広げよう ~

本学は明治 19 年に、法知識を活用し、主体性をもって社会の形成に参画しうる自立した市民を育成することを目的に関西法律学校として出発するとともに、大阪の知の象徴である「泊園書院」の系譜を引き継ぎ、「社会に実りをもたらす学問を市井に花咲かせる」との理念、すなわち「学の実化」と表現される学是のもと、130 年にわたる共通の歴史、共通の記憶、共通の目標を蓄積してきました。

今回の記念事業は、そうした良き伝統に対する自信を全構成員が深めるとともに、日本の各地域及びアジア・太平洋地域をはじめとした世界と交流するハブ大学としての地位を確固たるものとするため、未来に向かって「考動」する契機とします。併せて、長き歴史に支えられた 40 万校友が、関西大学との連帯感・一体感を深め、「教育の中で築きあげる絆」、すなわち「学縁」を広く世界に広げる機会になればという願いを表現しています。